

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年11月2日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3971000058
法人名	有限会社 沙羅
事業所名	グループホーム やまもも
所在地	〒787-0020 高知県四万十市入田3557
自己評価作成日	平成21年7月16日
評価結果市町村受理日	平成21年11月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3971000058&SCD=320>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者一人ひとりに応じて日々の気持ちや表情、行動などを把握し、ケアプランに沿った個別の支援に力を入れている。また、事業所内保育所に通園する職員の子ども達と交流することで、家族同様の関係ができて利用者の「和み」につながっている。また、誕生会や筋力アップ体操など利用者同士の触れ合いや、日々の生活の中で利用者それぞれの力量に応じて出来ることを負担にならない範囲で役割を担ってもらうことで、利用者一人ひとりの活気にもつながっている。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年8月20日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

市街地から少し離れた田園地帯の静かな住宅地にある事業所である。建物の廊下伝いに事業所内保育所があり、利用者は毎日通園してくる子ども達と交流し触れ合うことで生き生きとした笑顔が見られ、職員も家族関係のように大切にしている。また、居室から小学校の校庭が見え、利用者は児童の歓声や楽器の音を聞きながら過ごし、職員は、利用者、家族の思いに寄り添い、地域とともに支え合う理念の目標達成に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者が地域住民の一員として自分らしく幸せに生活出来るようにと理念を作成している。利用者一人ひとりの思いを大切に、利用者全員が穏やかに幸せに生活できるように職員一同理念を念頭に取り組んでいる。	生まれ育った地域に溶け込んだ暮らしを支援していく独自の理念があり、職員は毎月のスタッフ会で理念を確認し、日々の実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しており、区会、地域の行事（お祭り、運動会等）に参加し、地域との交流に努めている。	自治会に加入し、清掃や出役などに参加するとともに、自治会の集まりの際には事業所に関心を持ってもらうよう話題提供も行っている。また、近くの小学校と行事を通じた交流が行われているが、近所の方が立ち寄ってくれるなどの交流までには至っていない。	自治会や運営推進会議を通じて、地域との関わりを持つ努力をしているが、近隣の住民との挨拶や会話などコミュニケーションを形成し、さらに日常的な交流を深めていくことを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	グループホームに興味を持たれている方々にホーム内を説明しながら見学してもらったり、福祉の仕事に就きたい方のボランティアの受け入れをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で出た課題、提案はスタッフ会で話し合い、サービス向上に活かすとともに、その結果を次回の運営推進会議で報告している。	事業所から評価結果の報告や利用者の状況や運営状況について説明し、委員からは、防災訓練、地域行事への参加状況やボランティアなどについて意見が出されるなど、双方向的な会議となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	サービスの質の向上を図るため、市町村担当者とその都度、相談を持ちかけ、問題解決に当たっている。	利用者へのケアや困難事例、苦情への対応など、市町村の担当者に相談したり、また、包括支援センターの研修等を通じて、日ごろから連絡の取り合える関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は拘束による身体的、精神的弊害について理解しており、拘束は行っていない。また、カンファレンスで援助方法を話し合う際にも拘束となっていないかその都度確認している。	職員は拘束をしないケアについて理解し取り組んでいる。利用者の帰宅願望や外出したいことへの対応も、家族への電話や外出時の見守りなど柔軟に支援している。ただ、敷地の外門は日中もほとんど閉めている。	日中、建物の玄関は施錠はしていないが、敷地の外門はほとんど閉められている。防犯や安全対策と閉門による心理、精神的な抑制は表裏の関係があり、また、誰もが立ち寄りやすい環境づくりの視点から、日中は外門を開放し、安全を確保しつつ、自由な暮らしを支援するための工夫を期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者、職員が順次研修会に参加するとともに、伝達研修会で全員に周知徹底し、虐待防止に努めている。また、日常的に疑問に思うことなど、その都度話し合い虐待に繋がらないように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日頃のカンファレンスや研修会に参加するなど、学ぶ機会をもっている。また、必要と思われる利用者や家族には随時説明、紹介し、活用できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居申込時や入居前の面接時に、重要説明事項や契約内容を十分説明をした上で、不安、疑問点等を聞き、事業所で出来ること、出来ないことを伝え、理解、納得して頂くよう努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の日頃のつぶやきや家族会で出た意見をカンファレンス、スタッフ会で話し合い、必要に応じて、運営推進会議やお便りで家族に報告し運営に反映させるようにしている。	家族会は年2回、事業所の行事に合わせて行われ、家族のみで話し合うよう配慮している。家族会の意見は運営推進会議に報告され、運営に反映されている。意見箱は設置していないが、以前、市役所や管理者に苦情があり、市に相談、指導を受け、職員とも話し合い解決を図った事例がある。	事業所の運営に当たって、利用者、家族の意見等を反映させていくことが重要であり、意見箱や第三者委員の設置など、さらに家族等からの意見を出しやすい工夫を期待したい。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスやスタッフ会、その他随時に意見や提案を聞き、反映させている。	スタッフ会で職員の交代や利用者の入退所等について意見交換をしている。また、休暇取得などについて職員の意見を聞き運営に反映させるなど取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は日頃から事業所をまわり、職員の努力や実績を把握しようと努めている。また、各事業所職員の要望をまとめ管理者会を通じて会社に提出し、職場環境、条件の改善に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の経験、希望に応じ、年間研修計画を立て、積極的に学ぶ機会を確保している。また、月1回のスタッフ会で研修の報告をし、全職員が実践で活かせるようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会の定期的な勉強会や他ホームでの勉強会に参加し、管理者同士だけでなく職員同士の交流も図っている。また、2か月に1回は管理者会を開催し、困難事例の検討や意見交換会を設け、より良いホームづくりに活かしている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の面談時にゆっくり時間を取り、困っていることや、不安、希望等を聞くようにしている。また、事情が許せば家族とともに事前にホームを見学してもらい、安心して生活して頂けるよう対応している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前の生活スタイルや習慣、困っていること等を聞き、ホームで出来る対応について説明している。また、他の要望は家族と一緒に考えながら対応していくようお願いし、共に支えていける関係づくりができるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居申込時すぐ入居できず家族が困っている場合は、他のサービスの情報を提供し、つなげていくようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>レクリエーション、テレビ鑑賞、行事食づくりなど一緒に行うなど、日々生活していく中で喜びや感動を共にし、人生の先輩として利用者から学んだり、支え合える関係を築いていけるよう心がけている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族との連絡を密にし、利用者の介護方針を共有して共に考え、職員、家族ができるだけ統一したケアを行うようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの美容室に続けて通えるよう支援したり、友人、知人の面会も歓迎している。また、家族や友人に暑中見舞いや年賀状を書く支援をし、利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人、場所との関係が途切れないように援助している。</p>	<p>行きつけの美容院へ行ったり、知人・友人が利用者に面会に来てもらえるよう手紙を出すなど、これまでの馴染みの場所や人との関係が維持できるよう、一人ひとりに応じた支援を大切にしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりを理解し、職員が間に入り話題の提供をしたりして、利用者同士の関わり合い、支え合いができるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移った利用者には仲の良かった利用者が会いに行く支援等をしている。また、家族にもホームで役に立つことがあれば声をかけて頂くように伝え、相談、支援に努めている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の生活歴を把握したうえで、希望、意向を聞き出すようにしている。また、日々の暮らしの中でふと出た希望、意向を記録に書きとめ、ケアプランや日々のケアに活かすよう心がけている。	入所時に把握した利用者の思いや希望をもとに、入所後も日々の生活の中で、本人の立場に立って、思いや暮らし方の意向を把握し、困難な場合は、家族の話や生活歴等を参考に話し合っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の面接で本人、家族から情報を得たり、本人、家族の同意を得た上で担当ケアマネージャーから情報を得るようにしている。また、入居前の生活をより良く知り、ホームでの生活に活かせるように情報シートを作成し、活用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護経過を個別に記録し、全職員で状況を把握できるようにしている。また、利用者一人ひとりの担当職員を決め、担当職員を中心としたカンファレンスで、より細かな援助方法の徹底などを話し合っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族や本人に希望を聞き、担当職員を中心としたカンファレンスを行い、その人らしく生活出来るように意向、希望を取り入れたプランを作成している。更に、一定期間の見直しを行うとともに、状態変化があった時にはその都度カンファレンスを行い、現状に即したプランを作成している。	利用者、家族から状況や希望を聞くとともに、担当職員を中心にカンファレンスを行い、長期目標として6カ月毎、短期目標として3カ月毎に見直している。また、状態変化に応じて随時計画を見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	時間ごとに個別の介護経過を記録している。また、毎日ケアプランの実践した内容を記録し、ペンでチェックして次回のケアプラン評価に活かすようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関への通院、買物、外出の支援等、その時々利用者の希望に応じて柔軟な支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者の希望に応じて理・美容のボランティアに入ってもらったり、地区の運動会や催し、小学校の運動会や発表会に参加し、楽しんで頂けるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族と相談し、希望されるかかりつけ医で受診している。定期受診は基本的に家族をお願いしているが、何らかの状態変化があった時は職員も同行して状態を説明し、かかりつけ医と事業所との関係を築いていけるよう心がけている。</p>	<p>利用者、家族が希望するかかりつけ医に受診している。受診に際して家族の都合や緊急の場合は職員が付き添い、受診結果は通院に付き添った家族、職員から情報を得て記録し、職員間で共有している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回、訪問看護ステーションから看護師が来所して利用者の健康管理、相談に応じている。その際、職員も気軽に利用者の気になること等相談している。また、24時間電話による連絡体制を確保し、常に訪問看護サービスの提供を受けられる体制をとっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時、サマリーにて必要な情報を提供し、利用者の入院による負担を極力軽減してもらえるように主治医、病院スタッフに相談している。また、出来る限りお見舞いに行き、主治医、病院スタッフ、相談員、家族と話し合いながら早期退院に繋がるように援助している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族に重度化、ターミナルケアの指針を説明し、希望等を聞いている。該当者がいたら、主治医、訪問看護ステーション看護師、職員、家族と話し合いながら対応していく予定である。また、他の事業所に職員を派遣して重度化の対応状況などの研修を行い、その結果や感想を発表するなど職員全員で勉強している。</p>	<p>重度化、看取りに関する指針を作成し、入居時に家族等と話し合いが行われているが、家族の同意を得ていない事例も見受けられる。</p>	<p>重度化等の指針について、入居時に説明されているが、その後も事業所として出来ること出来ないことを家族等に説明し、早い段階から医療関係者も含めて方針を共有しておく取り組みを期待したい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に消防署から救急法の訓練を受け、利用者の急変時や事故発生時に備えている。また、各種マニュアルを作成し、対応等職員へ徹底している。</p>	/	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回防災訓練を行っている。運営推進会議を通じて地域住民に災害時の協力をお願いしている。地区の自主防災組織がまだ発足しておらず、出来次第、地域住民と共に災害訓練に参加させて頂く予定である。</p>	<p>防災設備の点検や防災訓練は防災計画に沿って実施されている。自治会や運営推進会議を通じて地域に協力要請をしているが、今のところ地域住民の参加、協力は得られていない。また、消防署に協力要請をしているが自主訓練となっている。</p>	<p>災害時には近隣の住民の応援は不可欠であり、今後も地域との関係づくりに努め、住民の参加、協力を得て防災訓練を実施することを期待したい。</p>
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者一人ひとりの生活歴、性格を把握し、人格を尊重した対応をするように心がけている。</p>	<p>個人情報の扱いについて、職員の採用時やスタッフ会を通じて徹底している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の生活歴を把握した上で希望、意向を聞き出すよう努めている。また、日常生活の中でその日に着る服や、おやつに食べたい物など選んで頂けるような場面を多く設けるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかな一日の流れは決まっているが、出来るだけ一人ひとりのペースを大切にしている。ドライブや買い物などの希望があっても当日に行く事が無理なら、後日計画を立てて実行している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その日の衣類は何にするか、好みの服を聞きながら選んでもらっている。また、外出の際も行く場所に応じて好みの服を選んでもらうようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力量に合わせて積極的に下準備等を職員と一緒にしてもらっている。また、普段したくないと言う利用者にも、行事食づくりなどみんなで一緒に作る機会を設け、関わってもらうようにしている。	日常の調理の下ごしらえや下膳は、利用者の好み、力量に応じて手伝ってもらっている。行事の際は、お寿司やお餅など利用者全員で用意するなど場面づくりに配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は一日最低1000ml摂ることができるよう水分チェック表でチェックしている。また、食事も一人ひとりの好き嫌いを把握し、食べられない物は他の食材で対応している。とろみや小口刻みの必要な方にはその対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員は口腔ケアの重要性を理解しており、毎食後、利用者の力量に応じて出来ない所（残歯、義歯の磨き残しやうがいなど）のみ援助している。また、義歯は週1回洗浄している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、極力オムツ、紙パンツを使わずトイレで気持ち良く排泄できるように援助している。	排泄チェック表で排泄のパターンを把握し、出来るだけおむつは使用しないよう一人ひとりに応じて紙パンツやパットを使い分け、排泄の自立支援を行っている。（夜間のおむつ使用1名）	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日頃から、水分補給、体操、食物繊維の摂取等を心がけているが、排便困難時は3日を限度として起床時に牛乳や水を飲んでもらったり、処方されている緩下剤を服用するなど、排便の援助をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	遅出職員を2名配置しており、夜間入浴の希望にも柔軟に対応している。利用者のその日の気分により、仲の良い者同士と一緒に入浴したりすることもある。洗える所は自分で洗ってもらい、便失禁があった時はシャワー浴を行うなど、気持ち良く過ごしてもらえるよう援助している。	利用者の希望に応じて毎日の入浴や夜間入浴ができるよう配慮しており、利用者の生活習慣に応じた本人本位の入浴支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜の行動を把握し、不眠、浅眠のある人には原因（昼間の活動量、水分不足、心配事等）を考え、環境調整の配慮、医師の指示による眠前薬投与の援助を行うなど、その人に合った安眠策をとっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書は利用者の個別カルテに挟み、職員がいつでも確認できるようにしている。また、薬の変更があった時は薬剤師に注意点を聞き、変わったことがあれば個別記録に記録し、医師、薬剤師に相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者一人ひとりの能力を見極め、生活歴を活かしてそれに応じた役割（毎日の掃除、洗濯物干し、洗濯物畳みなど）をお願いしている。必ず感謝の言葉を忘れないようにして、やりがいを感じてもらおうようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行きつけの美容院や衣料品店、喫茶店のモーニングなどに出かけるなど支援している。また、気候がよい季節には週に1回はレクリエーションの中にドライブの予定を組み、戸外へ出かけるようにしている。	日常的には事業所周辺の散歩や買い物などの希望に応じて外出支援をしている。また、年に2回は全員で行楽を兼ねてドライブするなど、外出の機会をつくり気分転換を図れるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人、家族と話し合ったうえで、所持金を自己管理してもらっており、外出先での買物の支払いも出来るだけ本人が行うよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>年賀状や暑中見舞い、手紙の返事を書くなど支援している。また、電話をかけたい希望がある時や家族、友人からの電話も、子機を使用し自室でゆっくり話せるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>朝夕の太陽光、テレビのボリューム、体感温度、台所の食器音など、利用者の表情を気にかけて調節している。また、ホーム内に季節に合った装飾を利用者とともに創作して飾ったり、季節の花を活けている。</p>	<p>玄関や中庭には四季の草花が育てられ、いつでも見て楽しむことができる。壁には利用者好みの犬や猫、花等の切り抜き写真や、利用者と一緒に作った折り紙を貼り、ゆっくり和める空間づくりに配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアに座敷コーナーを設置したり、ソファや廊下のベンチなどの配置に工夫し、共用空間で思い思いに過ごせる居場所づくりに取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に仏壇や使い慣れたタンスを持ってきて頂いたり、居室に家族や自分の写真、ポスターを貼ったりして、安心できる空間づくりが出来るように援助し、住み替えのダメージを少なくするように心がけている。</p>	<p>居室毎に、仏壇やタンス、鏡台など使い慣れた家具が置かれ、また、家族写真や好きな歌手のポスターなどで装飾し、その人らしい居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ、脱衣所等にも手すりを設置し、回路式廊下では歩行練習をしたりしている。また、使い慣れたはさみや針など危険な物も能力に応じて管理してもらい、使用する前後に数の確認をするなど、安全面に配慮している。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名： もも、うめ	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない